



Alumniの動き

◆ 岡山大学 Alumni (全学同窓会) 事務局からのお知らせ ◆

Alumni 会報は、毎年3月に発行してまいりましたが、本年は事情により発行を見合わせることにいたしました。次回の発行にご期待くださいますようお願いいたします。

岡山大学の動き

◆ 「子から親へのエール論文 2020」表彰式を開催

本学・岡山経済同友会・岡山県で組織するダイバーシティ推進実行委員会おokayamaが募集した「子から親へのエール論文 2020」の受賞者が決定し、2月10日に岡山県庁にて表彰式・懇談会が開催されました。

本論文は、高校生や大学生が、親が仕事と家庭を両立しようとする際に起きる身につまされるようなエピソードや、普段なかなか伝えることのできない親への感謝の思いを、子どもならではの視点で書きつづったものです。今回岡山県知事賞・岡山経済同友会代表幹事賞・岡山大学長賞を受賞した5作品は、いずれも読む人の心を強く打つ内容となっています。



前列中央：伊原木岡山県知事 前列右：横野岡山大学長

表彰式には、岡山大学長賞を受賞した山陽学園大学2年三宅萌未さんを含む4人の受賞者が出席し、岡山県知事・岡山経済同友会代表幹事・岡山大学長が、表彰状と副賞を授与。続いて行われた懇談会では、受賞者が本論文を書くに至った経緯や親への思い、書き終わっての心境の変化などを語り、県知事からは自身の経験等も踏まえながら受賞者へ熱いエールが送られました。横野学長も「コロナ禍で世の中が大変な中、今回の論文を通して家族の絆を再確認できましたね」と声を掛けるなど、終始なごやかな雰囲気の中で会が進行しました。

https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id10027.html

◆ 岡山大学病院に「コロナ・アフターケア外来」を開設

岡山大学病院は2月15日、総合内科・総合診療科に「コロナ・アフターケア外来」を設置しました。

新型コロナウイルス感染症は、詳細な実態に未だ不明な点も多いですが、回復した後も筋力低下、不眠、呼吸困難、脱毛、嗅覚異常、不安・抑うつなどの後遺症で悩んでいる患者さんが潜在的に多いと報告されています。「コロナ・アフターケア外来」では、岡山県内でそのような後遺症で苦しむ方々に対して、他の診療科とも連携して専門性の高い医療を提供することを目的としています。

2020年、新型コロナウイルス感染症が日本のみならず全世界で猛威をふるい、岡山県を含めた中国地方もその例外ではありませんでした。2021年1月現在で岡山県内の累計感染者数は2,000名を超え、感染症罹患後の問題を抱えている患者さんも多くいると考えられます。海外の報告では、新型コロナウイルス感染症罹患後の患者さんの半数以上に、全身倦怠感や睡眠障害、不安・抑うつなどの症状が出現しており、適切な医療のサポートが必要な方もいます。また、その感染症罹患後の症状は多種多様で、診療は複雑となっているため、診療体制の整った環境で体系的に診断・治療を行うことが重要です。

このたび開設する「コロナ・アフターケア外来」では、大学病院ならではの専門的な検査や他の診療科との連携を生かし、総合内科・総合診療科が中心となって診断・治療にあたります。

また、新型コロナウイルス感染症罹患後の種々の症状に悩む患者さん、ならびにその担当医からの紹介の受け皿となり、診療方針の決定とマネージメントを総合的に行い、地域の医療機関とも連携して患者さんの診療を円滑に行いたいと考えています。 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id10021.html



◆ 岡山の魅力づくりに貢献した人物などを表彰する「第 17 回岡山武蔵倶楽部大賞・特別賞」で榎野学長が特別賞を受賞

岡山の魅力づくりに貢献した人物などを表彰する「第 17 回岡山武蔵倶楽部大賞・特別賞」の表彰式が 12 月 23 日、岡山市内で開催され、本学の榎野博史学長が特別賞を受賞しました。

同賞は岡山県内の「まちの賑わいづくり」、「まちなみ・景観保存」、「文化・観光振興」に取り組む人物などを顕彰するものです。今年度は会員による計 53 件の推薦の中から、大賞に武久顕也瀬戸内市長、特別賞に近藤隆規高梁市長と榎野学長が選ばれました。榎野学長は、大学ビジョンに新たな

目標として SDGs を掲げ、特に地域との連携を重視した取り組みを推し進めるなど岡山創生にも大きく寄与したこと、およびコロナ禍において持続可能な新しい地域医療の確立を目指し、過酷な医療現場での健康維持に尽くしたことが評価され、特別賞の受賞が決まりました。

表彰式では同倶楽部の古市大蔵代表幹事が「榎野学長は SDGs を日本で広めた方と言っていい。また、コロナ禍において獅子奮迅の尽力をされており、頭が下がる思いです」と授賞理由を説明。松田久代表幹事が榎野学長に表彰盾を贈呈しました。

続けて、受賞者が各自の取り組みを紹介。榎野学長は岡山大学の SDGs 大学経営の取り組みなどを説明し、「コロナ禍を乗り越え、岡山地域の未来のあるべき姿を迎えるためには、地域に根ざし、地域の持続可能性を高める『知のプロフェッショナル』の育成が鍵となる。産学官をはじめとするマルチステークホルダーとともに共育・共創を推進していきたい」と述べました。

岡山武蔵倶楽部は、県外から岡山に赴任してきている支店長・営業所長と地元経営者らの交流を図り、地域経済の活性化や岡山の魅力発信に寄与することを目的に平成 15 年に設立。岡山商工会議所内に事務局を設置しています。令和 2 年 7 月現在で 235 人の会員が加盟しています。

https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id9912.html

◆ ～TFT5000 食突破記念企画～期間限定！ヘルシースパイスカレーの提供を開始

平成 31 年 4 月より岡山大学生協同組合で提供している、開発途上国の子どもの給食を支援する TFT(TABLE FOR TWO)メニュー・TFT 弁当の提供数が 5000 食を突破したことを記念して、1 月 25 日～2 月 5 日の期間限定で『ヘルシースパイスカレー』(440 円) の提供がピーチユニオン 3 階で始まりました。

TFT は日本発の社会貢献運動で、先進国の参加者と開発途上国の子どもたちが、時間と空間を越え食事を分かち合うことで、先進国の飽食と開発途上国の飢餓の同時解決を目指すというものです。TFT 対象のメニューを食べると、代金のうち 20 円が寄付金となり、TFT 事務局を通してアフリカ・アジアの子どもたちへ給食が届けられます。岡山大学生協同組合では、平成 31 年 4 月より TFT の導入を開始し、令和 2 年 10 月に総食数 5,000 食を達成。総寄付金額 142,643 円の成果を挙げています。(内訳：提供食数 5,216 食 104,320 円、募金箱とホームカミングデイ売上 38,323 円 (2020 年 10 月末日時点))



本企画は、「TFT5000 食達成を記念に、TFT にもっと注目してもらいたい」との思いから、SDGs アンバサダーの北風あみさん (法学部 2 年) が中心となり企画。留学生との交流をきっかけに、ルウを使わないヘルシーなスパイスカレー作りにはまっていた北風さん。ヘルシーカレーなら TFT の目標である「先進国側の健康向上」にも合致すると考え、導入を提案。岡山大学生協同組合の協力により実現しました。https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id9971.html

【発行元】



岡山大学 Alumni (全学同窓会) 事務局

〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目 1 番 1 号 (岡山大学 総務・企画部 総務課内)

Tel : 086-251-7019 Email : ou-alumni@adm.okayama-u.ac.jp (◎は@に置き換えてください。)

Alumni ホームページ: <https://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/alumni/>